

# EU Indicators

## 欧州経済指標コメント：1月ドイツ消費者物価(確報)

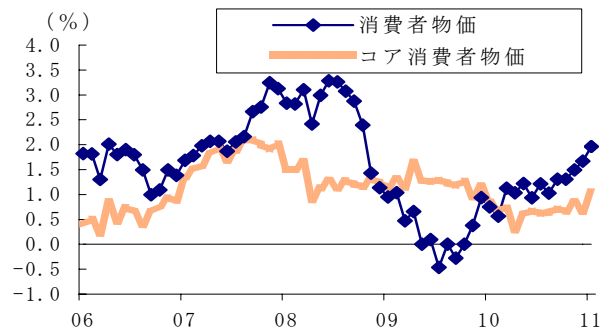
発表日：2011年2月14日(月)

～特殊要因もあるが上昇加速は商品市況の高騰ばかりが原因ではない～

第一生命経済研究所 経済調査部  
主任エコノミスト 田中 理  
03-5221-4527

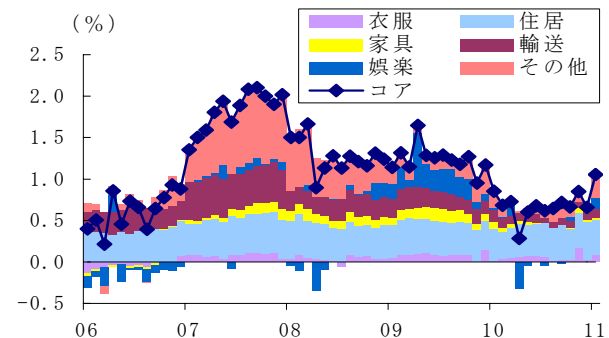
- ・ 1月のドイツの消費者物価の確報値は前年比+2.0%と速報値(同+1.9%)から上方修正。昨年12月の同+1.7%から加速し、2008年10月以来の2%台。エネルギー・食料品価格が引き続き全体の計数を押し上げたが、コア物価(変動の大きい食料・エネルギー・アルコール・たばこを除く総合)の上昇率も前月：同+0.7%→今月：同+1.1%から加速し、2009年12月以来の水準を記録した。
- ・ 今月のコア物価を押し上げたのは、パッケージ旅行、衣服・履物、その他雑費など。なかでもパッケージ旅行が前月：同▲0.5%→今月：同+2.6%と急伸したが、同項目は金額のロットが大きく、月毎の振れが大きいことで知られる。衣服・履物はここ数ヶ月のトレンドと比べて昨年11月が上振れ・12月が下振れしており、セール時期などの影響で月間の入り食いが生じている可能性もあろう。
- ・ このように今月の急伸は特殊要因による影響もあるが、物価上昇の理由が商品市況の高騰のみならず、コア物価の上昇にも起因している点には注意を要する。今のところ時間賃金やサービス価格に目立った上昇圧力は見られないが、好景気・好業績と逼迫気味の労働需給を背景に、賃上げ要求は高まる方向にあり、好景気が長期化すれば何れ賃上げ圧力として顕在化することは避けられない。
- ・ こうしたインフレ高伸リスクだけでなく、依然不安定な欧州財政危機の行方、ウェーバー独連銀総裁の辞任で白紙となったECB総裁の後継レースなど、先行きの金融政策運営には不透明要素が多い。

■ドイツの消費者物価(前年比)



注：コア物価は食料・タバコ・エネルギー除く  
出所：ドイツ連邦統計局

■ドイツのコア消費者物価の要因分解(前年比)



注：住居・輸送費からは各々エネルギー価格を除いた  
出所：ドイツ連邦統計局

■ドイツの消費者物価(%)

	2010				2010								2011
	1Q	2Q	3Q	4Q	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	
消費者物価(前期比)	0.3	0.4	0.2	0.6	0.0	0.0	0.2	0.1	0.1	0.3	0.5	0.3	
消費者物価(前年比)	0.8	1.1	1.2	1.5	0.9	1.2	1.0	1.3	1.3	1.5	1.7	2.0	
コア消費者物価(前期比)	0.8	0.5	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6	0.7	0.7	0.9	0.7	1.1	
コア消費者物価(前年比)	-0.8	1.3	2.8	3.3	1.2	2.6	2.8	3.0	2.9	3.4	3.6	2.7	
食料品(前年比)	0.7	0.5	0.7	0.9	0.3	0.7	0.7	0.7	0.9	1.0	0.7	0.8	
アルコール(前年比)	5.4	3.5	0.1	-0.3	0.4	0.5	-0.1	-0.1	-0.2	-0.2	-0.5	-0.5	
タバコ(前年比)	1.7	4.3	3.9	6.1	2.8	4.6	2.5	4.6	5.0	5.1	8.1	8.6	
エネルギー(前年比)	-4.3	0.0	1.6	4.4	-0.2	1.3	1.1	2.5	3.3	4.0	5.9	7.8	
住宅用燃料(前年比)	14.8	12.8	8.4	9.3	8.5	11.2	5.3	8.7	8.4	7.0	12.4	9.9	
自動車燃料(前年比)													

注：消費者物価の前期比は季節調整後。コア消費者物価は食料・アルコール・タバコ・エネルギーを除く。  
出所：ドイツ連邦統計局

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。